

下記の項目からクラブで挑戦できる必要な項目をいくつかお選び頂き、クラブ運営に少しでもお役に立つことができれば幸いです。

1. クラブは奉仕の幅を広げすぎず、絞り込んだ地域社会奉仕活動を実施
2. 委員会の数はクラブの規模に沿って適正な数に
3. 派閥がなく風通しの良いクラブづくり
4. みんなが仲良く、誰とでも話し合いができる雰囲気づくり
5. 1年未満の新会員研修を適時行う
6. 老・壮・青の年齢バランスも重要であり、クラブの中・長期計画にも載せる
7. 社会人としての倫理観、信義感そして社会に対して奉仕の気持ちを持つ人を
8. 会長は謙虚さをもちクラブ運営にて誰からでも意見やアイデアを聞き学ぶ
9. 全例会時間の厳守：時間延長は来訪者や、会員に迷惑、超多忙な人の集まり
10. 頻繁な例会日の変更は結果的に退会者を増加させることになる
11. 誰も退会しようと思った経験があり、退会を思い留めさせる義務がある
12. 例会欠席の多い会員への気遣いと対応は早めに実施する
13. 長期欠席会員には会長と増強委員長が訪問し、良く話し合って対応
14. クラブは3カ年の長期計画を作り、計画に沿って毎年実行する
15. 同業者、友人、親戚、近隣の方そして趣味を同じくする人をクラブに誘う
16. 未来にロータリーを託す人材づくりのための増強と適切な会員研修が必要
17. 7月の会員増強および拡大月間で、年度最大の増強キャンペーンを実施
18. クラブ会長、幹事のやる気がクラブの充実と活性化を促進
19. クラブに質問箱（意見含む）を設置し、どんなことでも担当委員会が回答、
20. 退会者は本当の退会理由を云わない場合が多く事前に真の問題点を推測
21. 例会の着席テーブルも定期的に更新して多くの会員と親しくなる
22. 委員長や副委員長の役職を十分生かす様な活発な委員会活動が人を作る
23. クラブは魅力的な奉仕プロジェクトや例会プログラムを常に心がけるよう
24. 可能であるならば夫人同伴例会を毎月一回または年に数回実施
25. ロータリー財団・米山財団寄付には幅広く参加するための重要性を理解
26. ロータリー財団は年次寄付として100ドル以上を全会員にお願いする
27. ロータリーは人生道場といわれが、例会が自分のために役立つよう意識

- 28、四つのテストを重視し、個人生活、社会生活職業生活に適用する
- 29、会員は思いやりの心を持ち、他人を理解しようとする
- 30、事務局員にあまり負担を掛けず可能な限り週報、通信など会員が行う
- 31、各委員会の運営基準や行動マニュアルの作成と定期的な見直しを
- 32、クラブ運営のマンネリ化を防ぎ、常に創造的な例会の見直しを
- 33、クラブ固有の特徴と長所を探し、適時改善しながら全会員でそれを共有
  
- 34、従来よりも例会としての会場費の安い場所の変えられないかを検討
- 35、会費の見直しと委員会の支払い経費分析で、可能な限り予算の有効活用を
- 36、世界では夜間の例会が 52%を占める、朝例会か夜例会も検討可能
- 37、少ない礼金で価値ある卓話者として協力してくれる人を地域社会で探す
- 38、例会を更に有意義な時間とするための会員による創意工夫を
- 39、クラブ年会費以外の臨時徴収が少なくなるよう創意工夫する
  
- 40、食事のマンネリ化に注意、高価でなくても新鮮味と変化を
- 41、日本における平均クラブ年会費は世界でも高い水準にある
- 42、会員増強の成功例を探し参考にする
- 43、できない理由を探すよりも、出きる理由を探す習慣を
- 44、ロータリーは知り合いを広めることができる絶好の機会と組織である
- 45、増強が難しいという前に今までにどれだけ深く増強に努力したかを反省
  
- 46、同じ条件であっても素晴らしい増強をするクラブもある、なぜだろうか
- 47、異なる背景の人たちと交わることも人生を更に豊かにする
- 48、ロータリーを通じて沢山の新しい友人を作ることが可能だ
- 49、ロータリー組織と地域社会奉仕の内容を分かりやすく地域に広報する
- 50、クラブ会長がエレクトの時から増強に努める
- 51、増強は拡大の時と同様に全員参加によりグループ単位で計画と実践を
  
- 52、会員になるよう誘われたことのない人がどこにもまだたくさんいる
- 53、親睦と奉仕のバランスを意識する
- 54、多忙な人を推薦する、多忙な人ほど時間の作り方がうまいから
- 55、私たちが誰かの推薦委よって会員になった、今度はそのお返し番です
- 56、良い事があったら褒める、行動、奉仕、達成、偉業、お祝い、仕事、親切
  
- 57、元ローターアクター、GSE メンバー、財団学友を新会員に狙う
- 58、管理職や専門職に携わる 40 歳以下のクラブ設立、年会費 10 万程度も可

- 59、40歳未満の会員には年会費を半額にする等若い会員を入れることも検討
- 60、年に何回かゲストデイを設け全会員が交代で友人や会員候補者を例会に
- 61、ロータリーは基本的に毎週一回例会を開く世界最古で最も伝統あるNGOだ
- 62、会員候補者でない人も例会に誘えば広報にも良いし数年後の入会するかも
- 63、例会ではできるだけ積極的に多くに人の名前を呼んで挨拶するよう努力を
- 64、先輩会員は新会員をメイクアップ、地区大会、国際大会に連れていく様に
  
- 65、どんな組織も長所と短所がありロータリーの長所が多いから113年も続く
- 66、会員の3つに義務は会費を払う、ロータリー誌を読む、出席すること
- 67、ロータリアンは社会人の模範であり、青少年の模範でありたい
- 68、例会や他の諸会合を通じてロータリアンから学ぶことはあまりにも多い
- 69、ロータリーによって自分の生き方が変わったという人は非常に多い
- 70、問題意識や目標意識が強い人ほど必要な情報はロータリーから得られる
  
- 71、自分の目標となるモデルをロータリー会員から選び、自己研鑽を図る
- 72、常に会員の適切な役職と各種会合で会員の出番を作るよう配慮
- 73、貴重な時間でありつまらないと思われる例会をなくす努力と入念な計画
- 74、ロータリアンの特典と義務をよく理解する
- 75、新会員だけでなく他の会員にもロータリーの基本情報を提供する
  
- 76、会員はロータリーを通して世界を知り世界に貢献している
- 77、新会員や若い会員がクラブに溶け込めるよう先輩が親しく声をかける
- 78、会員はロータリーを通して奉仕の真の目的を理解できる
- 79、魅力とは人の心をひきつけ、夢中にさせる不思議な力を言う
- 80、活発な委員会活動と共に例会でできるだけ委員会報告をする
- 81、先輩会員が新会員に温かい気持ちで個人的体験やロータリーの話をする
  
- 82、人と会ったときの挨拶は積極的に相手よりの先にする習慣がよい
- 83、例会の終了後ごとにさらに改善するところがないかを検討する仕組みを
- 84、ロータリーの歌だけでなく時々懐かしの歌、童謡なども入れる
- 85、他クラブと共同事務所や共同例会場を活用する
- 86、例会でふさわしくない場面があれば反面教師として学び改善をする
  
- 87、いつも他人から学ぶ姿勢で例会や諸会合に臨む
- 88、先輩会員は新会員の隣に座り良く話しかける
- 89、新会員が1年以内に会員候補者を紹介することも良い

- 90、クラブ会員が5年ごとに最低一人の会員候補者を紹介する
- 91、クラブ会員としての自己啓発と社会のために役立つことへの理解と実践
- 92、会員のためになる意義ある年間プログラムの計画と定期的評価をする
- 93、ロータリーへの熱意や魅力づくりはロータリーをよく理解することから
- 94、各クラブ会員がそのクラブに於いて絶対に必要な存在であるよう考える
- 95、会員にとって何が最も重要であるかを明確にするためにアンケート調査を
  
- 96、地域社会に対してロータリーへの理解を深めてもらうことは広報の基本
- 97、記念行事などにできるだけ家族や奥様、ゲスト積極的にお迎えする
- 98、新会員への積極的な思いやりと親切なフォローアップを
- 99、会員への十分なロータリー情報の提供 好きこそものの上手なれ
- 100、ロータリーは利己と利他の調和を目的とする人生哲学といわれる
  
- 101、新会員について、入会前の正しいロータリー情報が退会防止につながる
- 102、親しき仲にも礼儀あり、時として言葉使いが問題を引き起こす事がある
- 103、将来は女性会員だけのクラブ創設も増えていくでしょう
- 104、各会員の長所を見つけ、それを認め信頼する

ロータリーの綱領を分かりやすく以下に説明

- 1、 人生の目的は思いやりの心を持ち他人や社会のために役立つこと
- 2、 奉仕の理想は人生の目的を地域から世界に広めること
- 3、 地域を育み、大陸をつなぐテーマは人生の目的を世界中に広めること
- 4、 他人や社会が喜んでくれることを毎日一つでも多く実践することが幸せ
- 5、 歴史、文化、言語、習慣、食べ物など世界の多様性を理解し親善友好の促進
- 6、 一瞬の間も常に最も正しき道を歩むべし、間がささない様にしましょう